

警察官等を騙った特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和 7 年10月25日（土）

2 発生日時

令和 7 年 9 月22日（月）ころから同年10月24日（金）午前11時30分ころまでの間

3 被害品

現金 5 0 0 万円

4 被害者

和歌山市内に居住する70代男性

5 状況

令和 7 年 9 月22日ころ、被害者の携帯電話に郵便局の職員を名乗る女性から電話があり、その通話途中に警察官を名乗る男性に代わった上で、「詐欺の犯人があなた名義の通帳を犯罪に使っていた。あなたも関わっている疑いがある。私たちと連絡を取り合ってください。」等と SNS で連絡を取るよう指示してきました。

その後、約 1 ヶ月にわたり、検察官を名乗る男性とも連絡を取る等していたところ、警察官を名乗る男から、「あなたの対応が悪く、検察官が怒り、あなたの口座を凍結するそうだ。凍結を防ぐため、あなたのことを調べるので、指定する口座にお金を振り込んでください。」等と言われました。

被害者は、その話を信じ込み、令和 7 年10月24日に、指定された口座へ500万円を振り込みました。

その後、相手の指示に従い、SNS を操作したところ、ログインできなくなったことで詐欺であることに気づき、当署に届け出たものです。

6 その他

○ 和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508（これは）-878（わなや）

を開設（24時間）しています。

警察官がお金を振り込ませたり、お金を回収したりすることは絶対にありません。

そのような電話があれば、詐欺を疑って、すぐにちょっと確認電話にて確認してください。